



長崎県立大村高等学校

令和5年4月

文理探究科スタート!!

自ら**探**し、**究**める力で未来を拓く
ものごとを**探**り、**究**める力で社会に貢献



文理融合のカリキュラムと充実した「探究型学習」で…

- ◆グローバル社会を生き抜く、発想力と志を育てます◆
- ◆より高い進路目標を達成する、探究的かつ高い学力を育てます◆

「文理融合」とは？

「文系」「理系」という区別にとらわれず、幅広い知識と発想力を身に付けることができる学習体系です。今、「文理融合」の発想力が大学や社会で求められています。

夢をカタチに

文理探究科での学び

基礎となる知識や技能をしっかりと身に付け、それを深化させることで、社会や未来につながる学びへと発展させます。

「文理探究科」では、1年次には全員が共通の科目を学びます。
2年次からは、「理数探究」、「国際探究」のどちらかを選択します。

1年次

「文理探究科」

(定員80名・2学級)
共通の科目を学習

2年次

3年次

「理数探究」

- 数学、理科などの理系分野の学習に重点を置く
- 主に自然科学分野で自ら発見した課題について、科学的な視点から探究的に学習

卒業後の進路 理学、工学、農学、医学、歯学、薬学、看護学、教育学(理)、環境科学など

「国際探究」

- 英語、国語、地歴公民などの文系分野の学習に重点を置く
- 主に人文社会科学分野で自ら発見した課題について、グローバルな視点から探究的に学習

卒業後の進路 法学、経済学、文学、外国語学、国際学、教育学(文)など

学校での授業以外でも・・・文理探究科 独自の教育プログラム

大学や研究機関を招いての講義・セミナー

大学や研究機関から講師を招き、最先端の研究や技術に触れる授業です。自分たちの知らなかった世界との出会いから、生徒は教科で学んだ内容を深め、新たな課題の発見につなげています。



大学研修や海外での研修

最先端の研究や取組が行われている大学や研究機関を訪問し、地域が抱える課題から世界レベルの研究まで直接体験することが出来ます。また、海外研修では、研究の交流や異文化に触れる経験によって、学びへの意欲が高まります。



自ら探し究める

文理探究科での探究型学習

「知りたい」、「学びたい」からはじまる新たな出会い
あなたの「？」を大切にします。

1年次

「社会を知る」

- ・社会や自然を見るための基礎的な力を身に付けます。
- ・フィールドワークや取材など様々な体験を通して探究する基礎力を伸ばします。



フィールドワーク



取材後の班別発表



ミニ課題探究

2年次

「社会を探究する」

- ・理数探究や国際探究の専門性を生かし、融合させながら探究活動を行います。
- ・大学や企業、市や県と連携しながら社会にアクションを生み出す研究を行います。



地域探究活動



大学での研修講座



英語によるプレゼンテーション

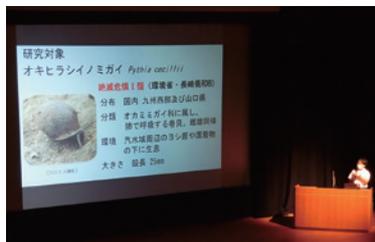
3年次

「社会に新しい価値を創造する」

- ・大学や自治体等に研究成果を発表し、社会課題に対する提言を行います。
- ・各種コンクールで発表を行うことで、研究成果を発信します。



課題探究最終発表



県理数科大会での発表



大学との合同発表

SSH活動

大村高校は、文部科学省よりSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に
指定されています。(I期(H30~R4)、II期申請予定(R5~R9))





Q1 文理探究科とはどのような学科ですか。



A 現代は、「グローバル化」、「情報化」などで日々の変化が激しい時代です。これからは、急激な変化に対し柔軟に対応できるよう単に知識を得るだけでなく、思考・判断し知識を活用する力が必要となります。

また、これからの大学入試もこのことに即して変更されます。文理探究科はそのような力の育成を目指す学科であり、自ら課題を発見し解決に取り組む「探究型学習」を重視します。探究型学習について大村高校は、平成30年度からSSHに指定されており、文理探究科の設置によりさらに発展させていくことを目指しています。



Q2 文理探究科と普通科はどう違うのですか。



A 両学科とも、ベースとなる教科学習にしっかりと取り組みます。それに加えて文理探究科では英語や数学、理科について専門的な科目を学習します。

また、文理探究科では探究学習の時間や探究活動の機会を多く設けており、思考力、判断力、表現力等の力を一層磨きます。

学校行事や部活動は、普通科や家政科と同様に取り組むことができます。



Q3 文理探究科を卒業後、どのような進路が考えられますか。



A 理数探究では、理科系学部(理学、工学、農学、医学、歯学、薬学、看護学、教育学(理)、環境科学)への進学が考えられます。

国際探究では、文科系学部(法学、経済学、文学、外国語学、国際学、教育学(文))への進学が考えられます。

どちらとも難関大学・学部をはじめ、進学を目指す生徒に対してきめ細やかな指導を行い、多くの生徒が進路実現を図るよう指導していきます。



Q4 現在の大学入試は以前に比べてどのように変化したのでしょうか。



A 大学入学者選抜改革により、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③多様な人々と協働して学ぶ主体的な態度について、多面的・総合的に評価する入試へと変化しています。

学力の3要素がバランスよく評価される総合型選抜や学校推薦型選抜の定員割合が大きくなり、令和3年度入試からは「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に切り替わりました。また、より詳細に記載するようになった調査書を大学側が積極的に活用するなど、高校での学習履歴が重視されるようになりました。

大村高校では、探究型学習を通して教科横断型の力や表現力を養い、新しい大学入試に対応する学力を身に付けていきます。現在も多くの生徒が、本校の探究型学習での活動を活かし、総合型選抜や学校推薦型選抜にチャレンジし合格しています。



長崎県大村高等学校 <<http://www.news.ed.jp/omura-h/>>
〒856-0835 大村市久原1-591 TEL.0957(52)2660

